

調達管理番号・案件名

24a00956\_大洋州地域におけるデジタル連結性とサイバーセキュリティ能力向上に係る情報収集・確認調査(QCBS-ランプサム型)

質問と回答は以下のとおりです。

2025年2月17日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	0	0	調査対象国は大洋州14カ国で現地渡航対象国は受注者の提案及びデスクトップ調査の結果を踏まえ確定することになっており、不確定事項が多いことからランプサム型に適さない。 旅費および航空賃が定額計上となっており、価格の調整幅が少なく価格点を上げるためには本見積内で報酬を大幅に削減する必要があり、QCBSに適さないと考える。 以上から、QCBS-ランプサム型から企画競争に変更しただけでないか。	現地渡航対象国は未定ですが、業務内容はある程度確定しており、不確定となる要素は多くないと理解しています。そのため、本件は企画競争ではなく、QCBS-ランプサム型が適していると判断したものです。よって、このままQCBS-ランプサム型としてすすめることをご理解ください。
2	13	現地渡航対象国については受注者の提案及び、デスクトップ調査の結果を踏まえに基づいて大洋州14 各国及び同地域内外関連国から選定	本調査では、「大洋州14か国」を対象に、通信やサイバーセキュリティ、およびそれらに関連する法規制、戦略、政策などを網羅的に調査するものと理解しています。 現地調査の対象国を選定する際の基準として、デスクトップ調査では得られなかった情報を補完することを優先するのか、それともデスクトップ調査で得た内容をさらに深掘りすることを目的とするのか、どちらを重視すべきか、現時点での想定があれば教えてください	デスクトップ調査の結果に鑑み、現地調査が求められる国を判断する必要があると考えており、双方のケースがあり得ると考えております。
3	13	(7)調査対象国及び現地調査方針 P.22 業務実施上の条件 2)渡航回数の目途	現地調査は基本的に1回とあり、渡航回数の目処は全8回とあります。渡航回数を8回とした場合、これは、大洋州のある国への渡航は1回限りで、合計で8カ国への調査が出来るという意味でしょうか？	各業務従事者が1回以上は現地調査をすることを想定し、延べ8回の渡航として積算しております。また、域内については業務従事者が1回の渡航で複数国を周遊することを想定しております。なお、渡航先及び訪問回数について指示するものではありません。
4	14	(2)調査項目案の整理・確認	”上記(調査項目)は想定項目であるため、これらを基に詳細な調査項目を整理し、調査開始前にガバナンス・平和構築部STI・DX室と確認を行う”とありますが、プロポーザルの業務に記載する実施方法の内容は、特記仕様書で指定されている調査項目に沿ったものになると想定しています。また、本調査は、契約完了後の4月から開始となっています。プロポーザル審査合格後の契約締結は3月末から4月上旬と想定されますが、調査開始前に貴機構と確認する時間は確保できるのでしょうか？	記載の調査項目は想定であるため、これらを基に詳細な調査項目を整理し、『調査の実作業を開始する前に』ガバナンス・平和構築部STI・DX室と確認を行うという意味となります。  本調査は下記のスケジュールを想定しております。 4月下旬 契約締結完了 4月下旬 本調査開始、調査項目決定 調査項目決定次第、調査の実作業を開始

5	17	(8)日本としての協力可能性及びその実現方法の検討	“協力案(最低5つ)として整理する”とありますが、この5つは、JICAの協力案として最低5つという意味でしょうか？それともJICA以外の協力案も含めて最低5つという意味でしょうか？	JICA以外の協力案も含め最低5つを想定しています。
6	20	プロポーザルにて特に具体的な提案を求める事項 2. 現地再委託の対象国と内容	「現地再委託の対象国と内容」に係る提案要求がありますが、第3条 調査実施の留意事項(7)調査対象国及び現地調査方針に、「外への情報開示が限られる可能性の高いサイバーセキュリティ等、効果的と想定される場合には、受注者の提案に基づき、現地再委託を認める」と記載のある通り、現地再委託を推奨するというよりは、機微な情報管理の観点から再委託内容を提案時点で把握しておきたいという意図と理解しましたが、認識あっていますでしょうか。また仮に、再委託なく自社人材での調査実施が十全と考える場合、プロポーザルにて特に具体的な提案を求める事項としては、そのように考える根拠を示すと理解したのですが、認識あっていますでしょうか。	特にサイバーセキュリティに関しては他国への情報開示を控える傾向が見られる国もあるため、同国のコンサルティング企業等や業界団体等を活用して再委託をするのが効果的となる場合もあると想定するという意味になります。自社人材で十分調査が実施可能である場合には当該業務にかかる現地再委託の提案不要となります。
7	21	(1)コンサルタント等の法人としての経験、能力 1)類似業務の経験	「国家レベルのサイバーセキュリティ」は、政府機関のみならず、国を支える重要インフラにかかるサイバーセキュリティを含みますでしょうか。	調査対象国の重要インフラを含むサイバーセキュリティにかかる方針・対応状況等は調査項目として想定されるため、そのようなものに関連する業務経験は含まれます。
8	22	2. 業務実施上の条件 (2)業務量目途 2)渡航回数 の目途	全8回の意図される場所についてお伺いしたいです。第3条 調査実施の留意事項(7)調査対象国及び現地調査方針に「現地調査は基本的に1回を想定」と記載ありましたが、全8回とは、計8名の調査団員が1回の渡航で複数国を周遊する(のべ人数での積算)、それとも例えば2名の調査団員が1回の渡航で4か国を周遊する(のべ人数×のべ渡航国数での積算)、いずれの想定であるか、お考えをお聞かせいただくと幸いです。	質問番号3の回答に同じ。

以上